

足柄上地区在宅医療・介護連携支援センターだより②

これからの高齢者ケア
～異次元の多職種連携を目指して～



やまと在宅診療所 大蔵 暢 先生

参加者は、医師・歯科医師 10 名を含む 101 名でした。
基調講演：國司先生のお話はいつも判り易いと評判で今回は NSAIDs への理解が深まりました。

特別講演：若くて意欲的な大蔵先生のお話は元気と希望が湧いてきました。多職種間で相互に尊敬しあう事や高齢者医療について写真や事例を交えての講演に多くの共感が得られていました。アンケートの中で、『介護士が一番ご利用者さんとの関りが多く、身体介護であれば 1日 2回と訪問が多いのに具合が悪い時は、話も聞かれず介護士はチームに入れない。すごく寂しい。介護者も支援しているのに。もっとチーム内で力になりたい』は、痛い言葉でした。

参加者は、165 名。小笠原先生の講演は、95%の方が良かったと高い評価を得ました。重いテーマでしたがユーモア溢れたトークを聞いて思わず笑ってしまう場面もありました。

アンケートの感想では、『病院の目的、使命が大変良く理解できました。本当の内容をお話だけでした。おかげで死に対する考えが大きく変わりました。ひとり者への大きな決断の足掛かりとなりました』等でした。

シンポジウムの準備が不十分で討論が時間切れになってしまったことを反省しました。

住み慣れた町でその人らしく最後まで穏やかに暮らしたい
緩和ケア診療所いっぽ 小笠原 一夫先生

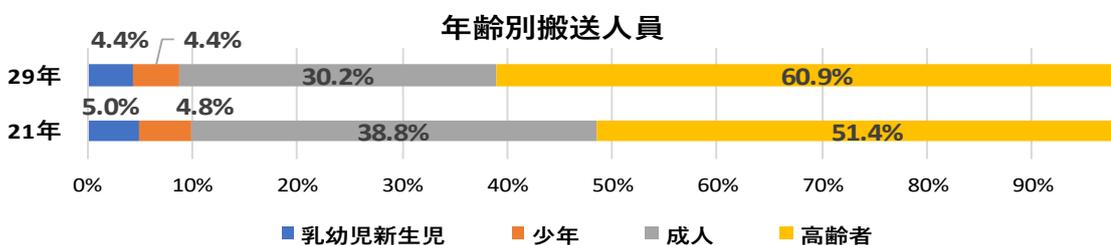


『小田原市消防本部を訪問しました』



入所施設を回ってお話を伺うと救急車を呼ぶ際の対応や情報連絡票等いくつか課題をいただきましたので、7月4日に小田原市消防本部救急課へ出向きお話を伺いました。昨今の熱中症の救急搬送の増加だけでなく救急搬送数は年々増加していて、高齢者の割合が救急搬送全体で平成21年度は5割でしたが、29年度は6割を超え、これからもさらに増えていくと予測されています。

夜間の救急要請時は、①日中のように状況が十分説明できない②記録等がスムーズに出てこない③救急マニュアルがあるとよい④救急マニュアルを十分に理解していない、等が上がりました。今後の課題として、救急講習の受講、救急要請について、かかりつけ医や協力医との連携、エンディング方針の決定などが出されました。今後、救急隊と施設とで適正利用やマニュアルなど確認検討していく必要性を確認しました。

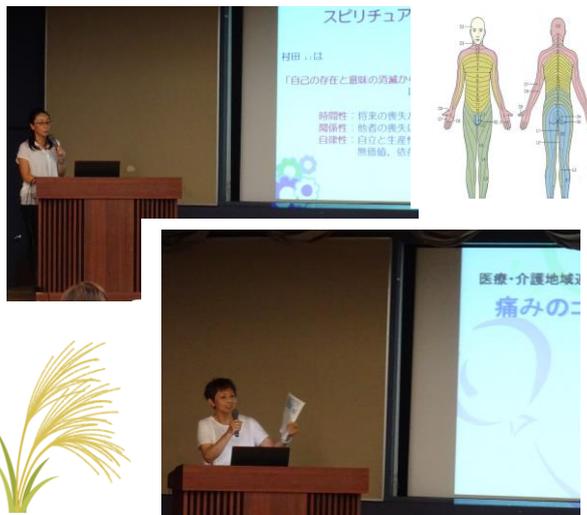


【医療・介護地域連絡会】

5月11日 89名参加「在宅における高齢者の看取り ～自然な最期の迎え方～」

足柄上病院緩和ケア認定看護師 曾我輝之さん

看取りの時期分類から家族の思いまで細かく講義がありました。その後、訪問看護師を各グループに配置し、多職種で①在宅看取りの増えない理由について②在宅看取りを増やしていくためにはどうしたらよいかをテーマに短い時間でしたが、他職種での意見交換は有意義でした。本人や家族が安心して在宅生活を送れるよう、在宅で関わるそれぞれの職種が、いかに連携を取ってサポートしていくかが重要であり、予測される看取りの過程をその都度、伝えていく事も重要な役割だという意見などが出ました。(参加者 90名)



7月13日 65名参加「痛みのコントロールを知ろう」

足柄上病院 がん性疼痛看護認定看護師

香川 仁美さん

塚原薬局管理薬剤師 五十畑 照美さん

熱心な二人の講義は、時間が超過してしまい、内容が満載過ぎて少々難しいという感想がありました。

認定看護師さんの講義は、痛みを主観的に捉えず図表を用いて客観的に数値化する。数値による目標設定をするために痛みのアセスメントを紹介され活用していきたい。

薬剤師さんの講義は薬の作用機序、分類、使用方法、注意など、理解が不十分だったが、知っている薬品名が出てきて明確になった。漢方薬についても知ることができて良かった。とそれぞれの感想がありました。(参加者 65名)

介護事業所毎の連絡会を開催しました



同じ専門職同士の交流により資質の向上、仕事への自信、職員の定着化を目指すため、今回、訪問介護事業所とグループホームの方々で連絡会を開催しました。初回ですので、軽く情報意見交換し今後に繋げることができました。2～3か月に1回程度開催していくことになり、当センターは事務局として支援することを提案しました。

7月19日 訪問介護事業所

15事業所中 8事業所 12名出席

3年ぶりの情報交換の場となりました。それぞれ人材確保や育成が大きな課題の中、ディサービス・入所施設・在宅訪問の違いから、訪問を苦手とする方や、施設での限界を感じて1対1の対応ができる在宅訪問にやりがいを感じる方など、各人の適性があるようです。また、自分のケア(介護技術)をもっと褒め自信を持ってほしいなどの意見がありました。

今後の課題として、①情報交換、②介護職の育成等についての研修、③顔の見える関係から多職種連携を目指す、④法改正等の理解等があげられました。

7月24日 グループホーム

12事業所中 11事業所 13名出席

神奈川県認知症高齢者 GH 協議会からの事業計画の報告がありましたが、研修会は横浜が多く足柄上地区からは参加しにくいとの意見が出ました。また過日、訪問した消防本部からの情報提供と夜間の緊急時の対応が施設間で相違しているなどを報告し、情報交換しました。

運営推進会議や看取りの現状、家族への対応など1時間余りでしたが、情報交換や検討したい課題があげられました。



編集後記 2年目がはじまりました。足柄上医師会のHP上で「本ページは只今準備中です」となっていました当センターがようやくアップすることができました。トピックとして研修会の案内や結果について報告していきたいと思えます。時々ぞいてみてください。お願い：当センターがどんなことをするのか期待されるのですが、皆様からの『こんなことをやってくれ!』というご意見をお待ちしております。